さいたま市立大宮北中学校

学校だより 10 月号

令和８年９月２５日（金）

０４８（６４１）１２１４
０４８（６４１）６６８０（さわやか相談室）
https://omiyakita-j.saitama-city.ed.jp/

学校教育目標

**『人間性豊かな
実践力のある生徒』**

◆たしかな学力
◆ゆたかな心情
◆たくましい身体

北中生の強みと今後の歩みについて

校長　廣江　剛



昨年、生徒による「いじめ対策委員会」の発案で始まった朝のあいさつ運動。今年度は新たに**「助け合い　互いの個性を　リスペクト」**というスローガンを掲げ、活動を継続しています。この１年を通して、北中生のあいさつに対する意識は大きく変化しました。校門での爽やかなあいさつ、校内で自然に交わされる声掛けに、生徒たちの成長を感じています。改めて、生徒自身が「やってみたい」と考えた取組を信じて見守ることの大切さを実感しています。また、１０月に実施される地域の避難所運営訓練には、当初の想定を上回る多くの生徒が参加を希望しています。地域の一員として、自ら役に立ちたいと考える生徒たちの姿を大変頼もしく感じています。さらに、本校は再来年に創立８０周年を迎えます。まだ具体的な式典の内容は決まっていませんが、１１月の学校運営協議会では、新生徒会本部役員にも参加してもらい、地域の皆様と「どのような８０周年式典にしたいか」を熟議する場を設ける予定です。生徒、保護者、地域の皆様とともに、**「みんなで創る！ 笑顔満開 大宮北中」**を実現していきたいと思いますので、引き続き御支援をお願いいたします。

さて、今年度の全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。本校の結果概要は別紙に掲載しておりますが、国語・数学・英語のいずれも大変良好な結果でした。各教科では詳しい分析を進め、今後の授業改善につなげていきます。中でも、本校の生徒は記述問題への対応力が高く、自分の考えを表現する力が着実に伸びています。一方で、国語科の分析からは、「自分の考えを整理し、根拠を明確にしながら書く力」をさらに伸ばしていく必要性も見えてきました。これは、全ての教科の学びの土台となる力です。今後も授業や学校行事など、あらゆる教育活動を通して育てていきたいと考えています。

生活や学習習慣に関する調査結果からも、北中生の多くの強みが見えてきました。「学校に行くのが楽しい」「困ったときに先生や学校の大人へ相談できる」と回答した生徒の割合は、全国平均を大きく上回りました。これは、本校が伝統ある学校行事を大切にしながら、生徒一人ひとりの活躍の場を広げてきたこと、そして誰一人取り残さない教育相談体制の充実に取り組んできた成果であると受け止めています。また、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と考える生徒も多く、地域への関心や社会参画への意欲の高さがうかがえました。地域行事や地域協働活動において、日頃から温かく生徒を見守り、支えてくださる保護者・地域の皆様のお力添えによるものと、心より感謝いたします。さらに、「自分にはよいところがある」「先生は自分のよいところを認めてくれている」と回答した生徒の割合も全国平均を大きく上回っています。これは北中生の自己肯定感と安心感の高さを示す成果です。しかし、この項目については、より高い水準を目指したいと考えています。今後は、一人ひとりがさらに自分に自信をもち、自らの可能性を信じて挑戦できるよう支援を続けていきます。ＩＣＴの活用については、本校の課題の一つと捉えていましたが、着実に前進しています。今年度は教職員による相互授業参観を年間３回実施し、授業改善に取り組んでいます。デジタルのよさと紙のよさを効果的に組み合わせながら、生徒たちの学びをさらに充実させていきます。

最後に、先日行われた生徒会役員選挙について紹介します。新会長に選ばれた２年生の長岡佑香さんは、立会演説会で次のように語りました。**「私は、北中を３つの『イタイ』がある学校にしたい。」「ここに居たいと思える学校」「自分の考えを言いたいと思える学校」「自分の心の痛いを言える学校」**私はこの言葉に深く感銘を受けました。生徒一人ひとりに居場所があり、自分の考えを安心して伝えられ、苦しい時には助けを求められる学校。これは新しい生徒会の願いであると同時に、私たち教職員の願いでもあります。生徒たちの主体性と可能性を信じながら、今後も全力で支えてまいります。これからの大宮北中学校の歩みに、どうぞ御期待ください。

別　紙

令和８年度　全国学力・学習状況調査の結果概要

実 施 日　令和８年４月２３日（木）
対象学年　第３学年

１　各教科の成果と課題の分析

国　語

○成果の見られる領域・評価の観点

・「助動詞の働き」や「ら抜き言葉」を問う問題の正答率が９割を超えており、基礎的な文法知識の定着がみられる。

●課題のみられる領域・評価の観点、その対策

・語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることに関して、正答率が５割以下であった。「書くこと」の領域において、自分の考えを推敲し表現することに課題が残る結果であった。

・上記をふまえ、その場に適した語彙を選び、根拠を明確にして書く力を養う授業を実践したい。

数　学

○成果の見られる領域・評価の観点

・記述式の問題の平均正答率が５割を超えている。（全国は約４割）

・どの領域の正答率も６割を超えているが、比較的「数と式」「図形」の領域が特によくできている。

●課題のみられる領域・評価の観点、その対策

・正答率は６割を超えているものの、「データの活用」の領域は全国との差が小さい。

・事柄が成り立つ理由を説明するときに、どのような方針で進めていくかを考える力を養うために、自ら課題を見つけ、課題に適した解決方法を導き出す授業を設定していきたい。

英　語

○成果の見られる領域・評価の観点

・日常の話題から情報を「読み取る」、「聞き取る」ことはよくできる。

・習得した知識を「話すこと」のコミュニケーションに使うことは得意である。

・「日常的な話題について、自分の考えなどを伝える」ことは概ね良好であり、無回答も少なかった。

●課題のみられる領域・評価の観点、その対策

・全体として、必要な情報を抜き取って判断したり、自分の体験に関わる事について書いたり話したりすることは比較的得意だが、話の概要をとらえ、社会的なことや、自分があまり関わらない事象について、まとまった内容を書いたり話したりするための語彙が不足していると思われる。

・初見の文章から要約文やグラフや絵を選んだり、短い英文から要約文を書いたりする活動が必要と思われる。また、日常のできごとや身の回りのことについて考えたり意見を交換したりする活動を多く取り入れていきたい。

２　生徒質問紙調査より抜粋（学習や生活習慣に関する調査）

	質　問　項　目	本　校	全　国	差
【将来に関する意識】				
1	将来の夢や目標を持っている。	70．0	67．6	＋　2．4
【自尊意識】				
2	自分には、よいところがあると思う。	91．3	84．0	＋　7．3
3	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	97．6	90．9	＋　6．7
【学校生活】				
4	学校に行くのは楽しいと思う。	97．6	85．4	＋12．2
5	困りごとや不安がある時に、先生や学校の大人にいつでも相談できる。	88．8	71．9	＋16．9
6	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについてわかるまで教えてくれている。	96．3	85．2	＋11．1
【基本的生活習慣】				
7	朝食を毎日食べている。	92．5	90．9	＋　1．6
8	毎日、同じくらいの時刻に起きている。	97．5	92．4	＋　5．1
【学習習慣】				
9	平日学校以外で2時間以上学習をしている。（塾も含む）	51．3	30．2	＋21．2
10	土日学校以外で2時間以上学習をしている。（塾も含む）	56．3	29．9	＋26．4
【地域・社会に関する興味・関心】				
11	新聞を読んでいる。	12．5	6．2	＋　6．3
12	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	81．3	72．3	＋　9．0
【学習状況】				
13	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。	93．8	78．8	＋15．0
14	学習した内容について、分かった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。	96．3	79．0	＋17．3
【ICT 機器の活用】				
15	1、2年生のときに受けた授業でコンピュータなどのICT 機器をどの程度利用したか。（ほぼ毎日利用した値）	63．8	55．1	＋　8．7
16	ICT 機器を使って情報を整理する（図・表・グラフ等を使ってまとめる）ことができる。	90．1	69．4	＋20．7
17	ICT 機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド等を使って）をすることができる。	91．3	80．0	＋11．3

※数値＝肯定的な回答の割合％（「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」をあわせた値）

※学校経営上、特に重要視している項目を抜粋して一覧にした。